株式会社 和光

セイコーウオッチ株式会社

セイコークロック株式会社

セイコープレシジョン株式会社

セイコーNPC株式会社

セイコー オプティカルプロダクツ株式会社

セイコースポーツライフ株式会社

セイコータイムシステム株式会社

株式会社 クロノス

セイコーサービスセンター株式会社

株式会社 オハラ

セイコーホールディングス株式会社

With you, every moment...

CSR レポート 2008

セイコーホールディングス株式会社
SEIKO HOLDINGS CORPORATION

私たちは誠実な心でお客さまと出会います。

「信頼される、喜び」

太陽が地平線から顔を出すとモノトーンだった世界が、
一斉に目を覚まし、風景はにわかに色づきはじめます。
木々の枝は、その先まで力がみなぎり、葉を大きく広げています。
朝露のきらめきを清らかな前奏曲として、すばらしい一日が静かに幕を開けます。
それは、お客さまと出会う新しい物語のはじまりに似ています。
二度とない今日という日が、お客さまの喜びで満ちあふれることを願って、
私たちは、「信頼される、喜び」を胸に抱き、誠実に歩んでまいります。

CONTENTS

1　プロローグ：「信頼される、喜び」
3　ごあいさつ

コーポレートプロフィール

5　物語のはじまり
7　開発に終わりはない
9　お客さまのすぐそばで
11　お客さまの満足のために
12　当社各事業のご紹介
17　一秒の言葉

CSR活動

19　マネジメント

社会性報告

21　お客さま
25　株主/社員
27　社会

環境報告

29　環境マネジメント
31　循環型社会への貢献
33　環境活動の推進

[ウェブサイトとの連携について]

本レポートではセイコーホールディングス(株)および各事業会社のCSR活動のエッセンスをお伝えし、ウェブサイトにも同様の情報を掲載しています。

ウェブサイトの内容は随時改訂されます。最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。

web http://www.seiko.co.jp/contribution/sustainability/index.html

[編集方針]

本レポートでは、私たちが大切にしている「お客さまとの絆」を中心に、二部構成としました。前半を各事業会社の紹介である「コーポレートプロフィール」、後半をそのCSR活動にスポットをあて、ご報告いたします。

また、私たちが1984年に制作した「一秒の言葉」というコマーシャルが今も学校の授業、結婚式などで語り継がれている事実を目の当たりにし、大変感動いたしました。2008年「時の記念日（6月10日）」を機にリメイクを行い、皆さまにご覧いただくためにTVコマーシャルのDVDビデオを添付いたしました。

[報告対象範囲と期間]

本レポートは、セイコーホールディングス(株)および事業会社12社*における2007年度（2007年4月1日から2008年3月31日まで）の活動を中心にご報告しています。

*(株)和光、セイコーウオッチ(株)、セイコークロック(株)、セイコープレシジョン(株)、セイコーNPC(株)、セイコーオプティカルプロダクツ(株)、セイコースポーツライフ(株)※1、セイコータイムシステム(株)、(株)クロノス、セイコーサービスセンター(株)、ヒューマンキャピタル(株)※2、(株)オハラの各社です。

※1　2008年6月に社名を「セイコーエスヤード株式会社」より変更しました。

※2　2008年9月に社名を「セイコービジネスサービス株式会社」より変更しました。

[参照ガイドライン]

GRI「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン2006」、環境省「環境報告ガイドライン2007年版」「環境会計ガイドライン2005年版」

[発行者]

セイコーホールディングス(株)
〒105-8459 東京都港区芝浦1-2-1　シーバンスN館

[お問い合わせ先]

セイコーホールディングス(株)　環境室　CSRレポート担当
Tel：03-6401-2111（代表）　E-mail：eco@seiko.co.jp

[発行]

2008年12月

FSC ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. CU-COC-809480
© 1996 Forest Stewardship Council

FSC認証紙の使用
厳しい基準に従い、適切に管理された森林の木材を原料にしている紙を使用しました。

PRINTED WITH SOY INK
印刷インキは大気汚染の原因となるVOC（揮発性有機化合物）の発生を減らすため、植物性の大豆インキを使用しています。

印刷工程では有害廃液を出さない水なし印刷を採用しています。

ごあいさつ

「お客さまとの絆」を大切に、
「これからの企業価値」を創造します。

皆さまにセイコーホールディングス（株）および各事業会社のCSR活動をご理解いただくためにこの報告書をおとどけします。

セイコーホールディングス（株）は、「社会に信頼される会社であること」を基本理念におき、経営の透明性・公正性の確保、環境への配慮を重要な経営課題として位置づけ、会社情報を適時・適切に開示し、誠実で透明性の高いコミュニケーションを目指してきました。2000年からは環境活動の内容をとりまとめて「環境報告書」を発行し、2006年には、環境に加え広く経済・社会活動をも取り入れ、多様な関係者に積極的に開示いたすべく「CSRレポート」を発行いたしました。

当社は1881年の創業以来、革新的な商品を次々と世に送り出してまいりました。2001年、当社は持株会社となり、現在は連結事業会社がさまざまな事業を展開しています。2007年7月、当社は持株会社であることをより明瞭に表す「セイコーホールディングス株式会社」へと社名を変更しました。これまで同様、事業会社それぞれの独自性・自立性を尊重し、特性を生かしながら効率的・機動的な経営を行えるようサポートに努め、社会に信頼される会社であるべく連結経営を推進してまいります。

セイコーホールディングス（株）および各事業会社はいつの時代にあっても、「確かな品質」の商品・サービスによってお客さまに安心と満足をおとどけし、語りかける会社でありたいと願ってきました。単に物を作り売るということではなく、「セイコーだから大丈夫」「セイコーにしてよかった」「やはりセイコーは信頼できる」というお客さまの評価により、さらに社会の役に立ちたいという希望を持って事業を行ってきました。

私は、セイコーホールディングス（株）が企業の社会的責任をまっとうするのみならず、さらに進んで、清潔で誠実な会社として、社会に信頼されることを期待し、経営を推進してまいります。

このたび、「お客さま」「株主」「社員」「製品・サービスの調達先」「地域社会・行政」など多様な関係者に向け、環境活動、経済活動、社会活動についてとりまとめ「CSRレポート」を発行することにいたしました。当社および関係会社の取り組みをご理解いただくうえで皆さまのお役に立てば幸いです。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役社長

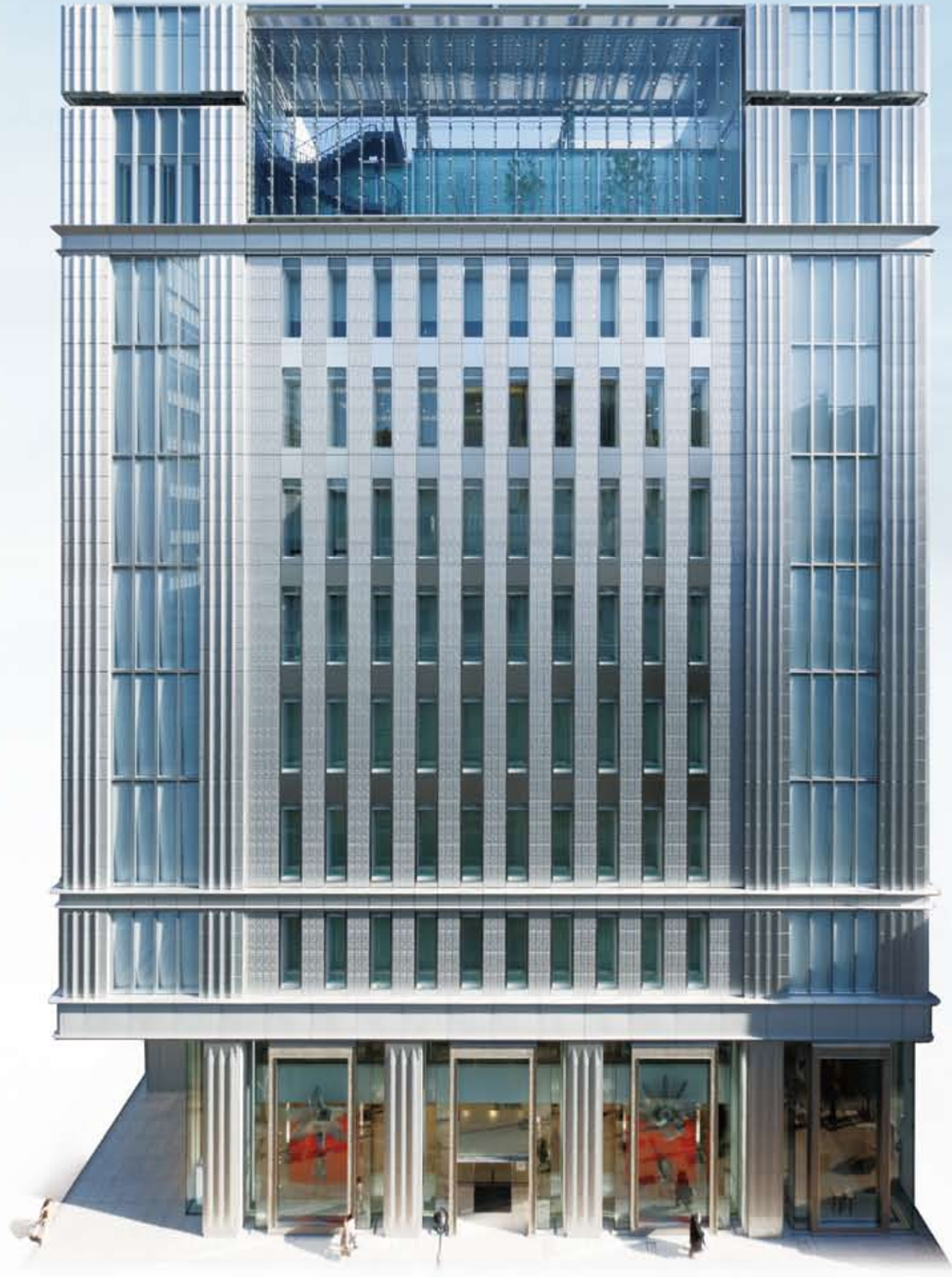
村野晃一

物語の
はじまり
Story

コーポレートプロフィール

「お客さまとの出会い」が
「うれしい物語」のはじまりです。

すみずみまで拭き清め、まばゆいばかりに磨きあげた店内に、
創造力にあふれる商品、徹底して選び抜いた商品を陳列します。
大切なお客さまをお迎えする準備を整えるとき、
緊張感は高まり、「新しい出会い」の期待に胸がふくらみます。
お客さまのご期待にお応えする責任は、
心からの喜びに変わっていきます。



お客さまを心からお迎えする 和光並木館

開発に
終わりはない
Story

盛岡セイコー工業(株) 雫石高級時計工房
web http://www.seiko-watch.co.jp/takumi

お客さまの「つける喜び」に革新と洗練のモノづくりでお応えします。

お客さまにとって最上のものをおとどけしたい。
そのために誰にも負けない技術と技能を磨きあげてきました。
その努力は、お客さまの「つける喜び」によって報われます。
そして、その先へ進む大きな勇気になっていきます。
革新と洗練のモノづくりに終わりはありません。

独創の技術を注ぎ込んだスプリングドライブ クロノグラフ

技術の結晶

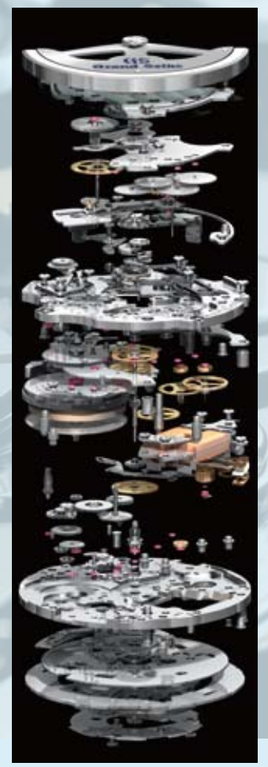
ウオッチは、身につける精密機械です。その内部には想像を絶する小宇宙が広がっています。独自・独創のスプリングドライブムーブメントのパーツに施される超微細加工は、目視ではかなわず、電子顕微鏡で検査されるほどになっています。その革新されつづける技術は、さらに洗練という衣をまといます。見た目だけでなく、肌触りや感触、きらめき、手応え、バランス、使い心地という官能評価までも追求して創り出されています。

web http://www.seiko-watch.co.jp/sd

究極の技能

各種デザイン賞の受賞者や全時連※主催の時計技能競技全国大会のメダリストなど、最先端の技能を身につけた人たちが、商品開発からアフターサービスにいたるまでたずさわっています。持てる技術をすべて注ぎ込み、さらに徹底した訓練と技能検定によって、モノづくりの極めて高い水準を目指しているので、高品質の製品を長い間安定して機能させることができます。普段、皆さまに何気なくお使いいただいている製品には、革新の技術と練達の技能が宿っており、お客さまの「つける喜び」に接することが、私たちの大きな誇りと喜びになっています。

※全日本時計宝飾眼鏡商業協同組合連合会
web http://www15.ocn.ne.jp/~zenji36



第3の駆動機構 スプリングドライブ

クレドール ジュリ
web http://www.credor.com/lineup

セイコーエプソン(株) 信州 時の匠工房
web http://www.seiko-watch.co.jp/shinshu

セイコーエプソン(株) 松島事業所の製造工程

セイコーレンズのポスター(2008年)

新構造レンズ「セイコー オーガテック」

プラスチックレンズの開発を常にリードし、画期的な新構造レンズを開発しました。最先端技術により、レンズ生地と表面コートのすべてを“有機複合物”で構成し、「熱、キズ、汚れ、衝撃、紫外線」に強いレンズを創り出したのです。レンズ面のクラックやコートはがれを1年間保証するなど、お客さまに快適な使い心地と視生活を提供しています。

web http://www.seiko-opt.co.jp/technology

世界最薄アナログ電波ムーブ搭載ソーラークロック

壁に溶け込むようにフィットするインテリア性の高い洗練されたデザインのクロックを開発しました。従来の約1/2、総厚8.5mm世界最薄ムーブメントの採用、そして前面ガラスに「高透過ガラス」を使用することで文字板の輝きと質感の向上を実現しています。さらに、光エネルギーと補助電池のハイブリッド駆動方式「ソーラープラス」により、使用場所を選ばない省エネ設計となりました。

web http://www.seiko-clock.co.jp

薄型電波クロック

ルキア店頭ポスター（2008年）

豊かな時との出合い

トレンドリーダーとして、店頭、テーマパーク、街などで、注目を集める広告や時代に先駆ける製品などを通じて多彩な活動を展開。おりに触れお客さまとのコンタクトポイントで、豊かな時との出合いを演出しています。また、公共の場に設置された設備時計は、周囲の環境と調和しながら、暮らしに便利さを提供しています。さらに、子どもが主役の子どもの街「キッザニア東京」に「街時計」パビリオンを出展しています。子どもたちが時を告げるパフォーマンスをすることで、一人ひとりに与えられている時間の豊かさ、美しさに気づいてくれることを願っています。

モニュメントクロック（羽田空港）

左上：バーゼルワールド2008の
セイコースタンド（スイス・バーゼル）
右上：バーゼルワールドでの
セイコープレスコンファレンス
左下：セイコーショールーム（パリ）
右下：世界時計（成田空港）

世界の人々と、世界の街で

日本で生まれ世界で育ちました。毎年スイスで開催される世界最大の時計見本市バーゼルワールドでも、新製品は常に世界のバイヤーから注目され、記者発表の会場は大盛況となります。またパリにあるショールームは、フランス市場に紹介されているウオッチやクロックを陳列し、さまざまな情報を発信するなど、グローバルなサービスを展開しています。

お客さまのすぐそばで Story

キッザニア東京の「街時計」パビリオン（東京・豊洲）

お客さまの「たいせつな暮らし」を豊かなハーモニーで彩ります。

ちょっと街に出て歩いてみましょう。
お客さまとさまざまな場面で出会っています。
お客さまの暮らしの、とても近くにいることを知ってください。
幸せな時のハーモニーで街と暮らしを彩ります。

進化したセイコーウオッチカスタマーサロン

修理や時計の使い方の相談だけでなく、購入に関するさまざまな情報をお客さまに提供しています。最新カタログ、時計専門資料なども用意しています。メンテナンス承りでは、ご愛用の時計内部をマイクロカメラで拡大して見ることができるシステムや、高級モデルの試着サービスなどお客さまの満足度を高めるよう努めています。

セイコーウオッチカスタマーサロンのレセプションカウンター（東京・丸の内）

極限の記録に挑むあらゆるスポーツを応援

国際大会はもちろん、国内外で開催される数多くのスポーツ競技会の公式計時を担当。いつも、挑戦と熱い感動の真っただ中にいます。

web http://www.seiko.co.jp/experience/sports_timing

1000分の1秒まで記録するスリットビデオカメラ

ミュージックマインドとともに

たとえばメトロノームには、テンポ、ビートを合わせるだけでなく、リズムトレーニングができるものがあります。また、チューナーには、ピッチ（音程）を正確に合わせられるよう、直接楽器に取り付けて音を拾うものや、管楽器などの移調楽器に便利な機能がついたものがあります。美しいハーモニーを創り上げる音楽家やそれを楽しむ人々のミュージックマインドを多彩な商品で応援しています。

web http://www.seiko-sl.co.jp/music

天然木の振り子メトロノーム「森の響」

時と時計の歴史にふれる

日本初の腕時計を世に送り出した私たちは、時と時計に関する膨大な資料を保存し、見学者や研究者に提供しています。特に和時計のコレクションは充実しており、その一部を展示しています。

web http://www.seiko.co.jp/nihongo/horology

セイコー時計資料館

和光並木館 9階 WAKO CAFE

和光並木館 10階 レストラン THE WAKO

お客さまの
満足のために
Story

お客さまの「幸せなひととき」のために、心からおもてなしいたします。

夢のある品に出合えると、嬉しくなる。
心のこもった贈り物は、「幸せの絆」を強めてくれる。
お目当ての商品を探していると、時の経つのを忘れる―。
そんな、ショッピングの「幸せなひととき」を
一人ひとりが、真心こめておもてなしいたします。
「ワンクラス上の上質な世界」を実感してください。

すべてはお客さまのために

和光に寄せられるお客さまからの信頼を守りつづける責任があります。そのために、実施する検品は極めて厳格です。お客さまのために、望み得る最高級の品質を目指して、和光は、厳しさに裏づけられた上質な“おもてなし”を磨きつづけています。

和光並木館 正面玄関

当社各事業のご紹介

株式会社 和光

和光の前身である服部時計店は、1881年（明治14年）に創業し、1895年（明治28年）に今の銀座四丁目に移転。現在の和光本館（旧 服部時計店ビル）は、1932年（昭和7年）に竣工し、以来76年以上にわたり銀座のシンボル、東京のランドマークとして人々から愛されてきました。終戦後まもなく服部時計店は組織替えを行い、1947年（昭和22年）小売部門が独立し、株式会社 和光が誕生しました。

和光は、専門店が軒を連ねる大人の街銀座に位置し、洗練されたセンスと大人の雰囲気が漂う専門店として発展してまいりました。ウオッチをはじめ、宝飾品、紳士・婦人用品、ハンドバッグ、室内装飾品、食器など、そのすべてが和光で企画・開発し商品化したもの、あるいは日本国内はもとより、世界中から独自に選び抜いたものばかりです。そしてどれもがすべて「和光」というブランドを冠して販売し、お客さまの信頼を得てきました。

また、商品とともに和光が大切にしているものが「接遇」です。和光は単に販売する場所ではなく、お客さまにとって和光があって良かったと思ってくださり、また一人でも多くのお客さまに和光のファンになっていただく場所でもあります。そのためには、センスのよい、高い品質の商品を見極める力を養い、何よりもお客さまにかかわるすべてのシーンにおいて質の高い「接遇」を実践すること。これが和光における社員一人ひとりの日々の活動の原点です。

商品、接遇そして銀座というステージ、これらが一体となった「和光ブランド」は、長い年月をかけてお客さまに育てられ、同時に社員一人ひとりの努力と経験によって磨き上げられてきたものです。お客さまお一人おひとりの顔を思い浮かべながら、和光の最大の企業資産、「和光ブランド」の価値をさらに高めていくこと、これが私たちの使命です。

和光本館は、2008年1月より300日にわたり、耐震・防災に関する安全性の向上と、設備・内装の機能性・快適性の向上を柱とするリニューアル・改修工事を実施し、同年11月22日にリニューアルオープンしました。これにより、2008年1月にオープンした和光並木館との2館体制が整い、新たな歴史を歩み始めています。

「華麗な、銀座のランドマーク」

銀座四丁目交差点に建つ和光本館（旧 服部時計店ビル）は、ゆるい弧を描いた優雅な曲線が特徴の7階建ての建物で、基本的な様式はネオ・ルネッサンス様式と呼ばれます。建物の外装材は天然石を使い、特に1、2階はピンクがかった御影石の一種の万成（まんなり）石が使われています。

長年にわたり多くの人々に親しまれている和光の時計塔は、1932年（昭和7年）の建物の竣工とともに完成したものです。塔の四方にある文字盤は正確に東西南北（交差点に向かっている盤が南）を向いています。現在は、GPSシステムを導入した極めて精度の高い最新のクオーツ時計を用いており、毎正時には時報を告げるチャイムが銀座の街に鳴り響きます。

web http://www.wako.co.jp

セイコーウオッチ株式会社

セイコーウオッチ(株)は、2001年7月に当時のセイコー(株)から独立しました。ウオッチビジネスを通じて多くの人々と喜び、感動そして誇りを分かち合い、それぞれの人たちの「時」に彩りを添えるお手伝いをしていく企業を目指しています。

ブランドビジョンとして掲げているのは、「革新と洗練(Innovation & Refinement)」。セイコーが常に持ちつづけている「革新」の力を基に、「時」と向き合うあらゆる場面で、お客さまに質の高い満足を与え、「時」の価値を高めていただくための「洗練」を実現し、価値ある「時」がもたらす感動や喜び、心のゆとりをお客さまと共有できるパートナーでありつづけたいと願っています。

当社は、企業倫理遵守体制を確立し、維持・継続していくことを重要な経営課題のひとつとして掲げ、企業倫理行動宣言の制定・企業倫理ガイドラインの社内配付・継続的な社内研修の実施による啓蒙活動などを通して、適正な事業活動を実現することを目指しています。

また、環境活動への取り組みとしては、「チーム・マイナス6%」「クールビズ」活動への参加。(財)日本環境協会の「エコマーク」認定取得。EUのRoHS指令への対応。酸化銀電池(腕時計用ボタン電池)の無水銀化(2008年12月末切り替え)など、環境に配慮した商品づくり・事業活動への取り組みをつづけています。

2007年度の主なトピックスとしては、①世界をリードする時計・宝飾品の国際見本市バーゼルワールドへの出展、②インドでの現地法人設立、③独自の駆動機構「スプリングドライブ」にストップウオッチ機能を備えた「スプリングドライブ クロノグラフモデル」の発売、④「地球との調和」をテーマに、自由な発想でデザインされたコレクション「セイコー ムービングデザインコレクション」が「2007年度グッドデザイン賞」を受賞、⑤デュアルタイム表示機能を備えた世界初のアナログ式ソーラー電波時計の発売、⑥日本最大級のデザインイベント「東京デザイナーズウィーク」にセイコーデザイナーの活動成果である「パワーデザインプロジェクト」を出展、⑦中国の標準電波を受信する世界初の多局対応型ソーラー電波時計の発売などがあげられます。

「伝統と革新の、美しき出合い」

セイコーは、自ら主要部品を作り、ムーブメントの設計・開発・組立をすることで高品質な時計を自社から提供できる数少ないマニュファクチュールとしての地位を築いてきました。

現在、長い歴史に裏づけられた精密加工技術に、クオーツに代表されるマイクロエレクトロニクス技術を融合させ、高精度の機械式から最先端のソーラー電波時計までさまざまな研究開発に取り組んでいます。最新技術の結晶である「スプリングドライブ」は、機械式時計と同じぜんまいのほどける力を動力とし、水晶振動子とICによる電気制御を行いクオーツ時計と同等の精度を達成した“第3の駆動機構”です。

また、セイコーは、自動巻発電によるクオーツ駆動機構「キネティック」に、手巻き発電と「発電量表示機能」を搭載し「キネティック ダイレクトドライブ」を開発しました。この新しい時計は、手巻での発電量が瞬時に針の躍動で示され時計との対話を感じることができます。

伝統の精密技術・匠の技と革新的な発想、そして高度なテクノロジーを駆使し、私たちは人が新たな感性価値を見出す領域にまで踏み込んで新しいウオッチを作りつづけています。

web http://www.seiko-watch.co.jp

セイコークロック株式会社

セイコークロック(株)は、1996年創立。以来、クロックの企画・開発から、製造、販売、アフターサービスまでを一貫した体制のもとで展開しています。また、国内とタイ、中国に製造拠点を持ち、香港はそこを拠点に海外販売活動を行うなど、グローバルな活動を推進。高い品質と技術力、また伝統あるモノづくりの技によって、すぐれた製品を国内外の市場におとどけすることを目指しています。

取り扱っている商品は、専用の工房で一つひとつ熟練の技術者の手で丁寧に作られる高級時計をはじめ、省電力長寿命モデル、夜でもしっかり見える全面点灯、家庭にも夢を与えるからくり時計など、付加価値の高い商品によって、人々の暮らしに豊かさと楽しさを提供。電池交換が不要なソーラークロックや、時刻合わせが不要な電波クロックなど、ケアフリーの便利な製品の開発にも力を入れています。また、時刻、カレンダー、アラームを音声で教えてくれる電波目ざまし「トークライナー」が、多くの人に使いやすい置時計として注目を集めています。さらに2008年6月には、従来の約半分の総厚8.5mmの薄さを実現したアナログ電波クロックムーブメントを開発。このムーブメントの特長を生かし、薄く軽く美しく、しかも環境に優しい省エネルギー設計の薄型ソーラー電波クロックを発売しました。

これからも、これまでクロックの開発、製造で培ってきた先端の技術力で、時代のニーズに応えながら人々に満足していただける製品を提供しつづけていきます。

web http://www.seiko-clock.co.jp

セイコープレシジョン株式会社

創立1996年。セイコープレシジョン(株)は、長年にわたり培ってきた精密加工技術、最先端の電子・光学技術、信頼性の高い安定した量産化技術、ユビキタス社会へのソリューション創出技術などを通じて、各種キーデバイス、キーパーツおよびキーソリューションを市場に提供しています。

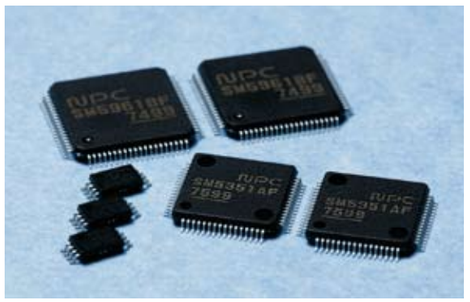
電子デバイスの分野では、カメラ用シャッタのトップメーカーとして培った、オプトメカトロニクス技術を集約したデジタルカメラシャッタ、絞り機構などを開発・製造しており、デジタルカメラの小型化、省電力化、高機能化に貢献しています。また、その周辺・応用製品として、各種小型モーターなどでもお客さまのニーズにお応えしています。さらに、これらの生産技術、精密金型設計、成形部品技術、細密実装技術、精密組立技術などにより、自動化設備や金型、さまざまなコンポーネント、デバイス製品を市場に提供するほか、受託開発・受託製造の分野にも事業を展開しています。

一方、ソリューションの分野では、お客さまの問題解決をあらゆる視点からお手伝いするソリューションプロバイダとして、トレーサビリティ、セキュリティが求められるすべての分野に必要なソフトウェア、ハードウェアを提供しています。情報ネットワークシステムの企画・開発から運用・保守サービス、プリンタ・タイムレコーダなどのビジネス機器の開発・製造まで、独創的な技術力で市場のニーズに応えています。さらに、高性能ワイヤレス技術を応用したICタグや、ローカルネットワークに時刻コンテンツを提供するタイムサーバ、日本データ通信協会の認定を受けた「時刻認証サービス」など、最先端の分野でユビキタス・ネットワーク社会の基盤作りに貢献しています。

web http://www.seiko-p.co.jp

セイコー NPC 株式会社

時計用のICの開発と製造を目的に1975年に半導体メーカーとして創立されました。以来、先進技術を生かし、通信分野、オーディオ分野、水晶発振器用途へ向け、多くの独創的商品を世界に先駆けて生み出し、成長してきました。急速に変化する市場の要求と情報通信機器の飛躍的進化に応えるべく、独自のBiCMOSとCMOS製造技術により、高精度・低パワーを特長とするアナログ・デジタル混載集積回路を開発し、提供しています。



web http://www.npc.co.jp

セイコーオプティカルプロダクツ株式会社

創立1996年。セイコーブランドを中心としたメガネレンズとフレーム、および各種ライセンスブランドのフレーム、サングラスなど眼鏡関連商品の企画・宣伝・販売・アフターサービスなどを行っています。国内５カ所、海外３法人の販売拠点を持ち、先進の技術力と高品質、すぐれたデザインに裏付けされた製品とサービスをもとに、国内および主要各国において、きめ細かなマーケティング活動並びに販売活動を展開しています。

web http://www.seiko-opt.co.jp

セイコースポーツライフ株式会社

創立2000年。社名を2008年にセイコースポーツライフ(株)とし、「S-YARD」ブランドのゴルフクラブをはじめ、ストップウオッチ・スポーツ計時機器、ランナーズウオッチや歩数計などの健康サポート商品、メトロノーム・チューナーなどの音響アクセサリーなどについて、商品の企画から国内・海外への販売まで総合的に事業展開しています。そして、スポーツや音楽の楽しさ、心身の健康をサポートできる商品を提供しています。また、国内外の各種スポーツ大会の計時支援・協賛を行い、スポーツの振興と国際交流に貢献しています。

web http://www.seiko-sl.co.jp

セイコータイムシステム株式会社

創立1970年。学校・病院などの公共施設で多く使われる設備時計、街を彩るからくり時計、放送局用時計などの専門的な時計から、10,000分の１秒まで計測可能なスポーツ計時計測機器、競技処理コンピュータシステムおよび各種大型表示盤など、すべての商品について、製造、企画、開発から販売、アフターサービスまでを総合的に行う会社です。オリンピックなどの国際大会で培われたセイコーの豊富な経験と、高度な技術力をベースに、各種スポーツ大会の計時支援活動も積極的に展開しています。

web http://www.seiko-sts.co.jp

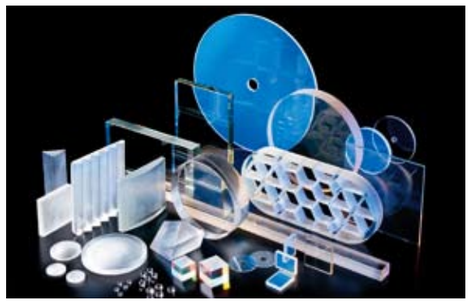
株式会社クロノス

創立1985年。全国の有名百貨店を中心に多くの店舗を展開し、業界では国内有数の規模を誇る小売販売の会社です。セイコーブランドをはじめ、世界の高級時計・宝飾・眼鏡の小売販売および時計の修理などを行っています。

web http://www.cronos.co.jp

株式会社オハラ

1935年の創業以来、光学ガラス専業メーカーとして、日本の光学産業界の発展とともに歩み、時代の要求するレンズ材料を開発・供給してきました。近年は材料組成開発技術や光学ガラス製造技術をベースに、環境対策光学ガラス、HDD用ガラス基板材、極低膨張ガラスセラミックス(クリアセラム®-Z)、石英ガラスなど、光産業やエレクトロニクス・環境・エネルギー関連産業向けの製品開発に注力し、光とエレクトロニクス、環境・エネルギー分野におけるキーマテリアルおよび技術・サービスを提供しています。



web http://www.ohara-inc.co.jp

セイコーホールディングス株式会社

2001年、セイコーホールディングス(株)は持株会社となり、各事業会社のサポートに努め、社会に信頼される会社であるために、お客さまに育てられてきた企業価値をさらに高めるべく、連結経営を推進しています。私たちは、お客さまに、安心と満足をおとどけする「確かな品質」こそが、「これからの企業価値」を創造する原点と考えています。社員一人ひとりがこの考えのもとに行動してまいります。

概　要

創　　業	1881年(明治14年)
資 本 金	100億円
連結従業員数	7,499名(2008年3月31日現在)
連結売上高	2,139億円(2008年3月期)
本社所在地	〒105-8459 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel : 03-6401-2111 (代表)

web http://www.seiko.co.jp

一秒の言葉

その長い物語は1984年に始まりました。

ほんの一秒というわずかな時間で語られる言葉。

はじめまして。ありがとう。がんばって。
おめでとう。ごめんなさい。さようなら。

私たちの心は、この一秒の言葉によって、
時に励まされ、時に勇気づけられ、時に涙します。

1984年にSEIKOがラジオCMとして送り出した「一秒の言葉」。
2008年、新たなCMとして生まれ変わりました。

短い時間に込められた、語り尽くせぬ想い。
その積み重ねから生まれる人生という時間。

人と時間とのかかわりを大切にし、
いつもその傍らで、時を刻む。

一秒に込める想い。SEIKO

セイコーホールディングス(株)のウェブサイトより

web http://www.1byou-no-kotoba.jp/index.html

CSR活動

セイコーホールディングス(株)および各事業会社は、
それぞれの業界および事業形態に基づく企業倫理を尊重しながら、
法令・規則を遵守し、企業としての責任を果たしています。

マネジメント

持続的に成長する社会において、企業の責任を果たしていきます。

コーポレート・ガバナンス / コンプライアンス

セイコーホールディングス(株)および各事業会社は、すぐれた商品やサービスの提供を通じ、社会に信頼される会社でありつづけることを目指しています。各事業会社が属する業界あるいは事業形態が多様なため、事業会社ごとの意思決定を尊重し、責任の明確化をはかるとともに、経営の透明性、公正性の確保、社会倫理の尊重を追求しています。

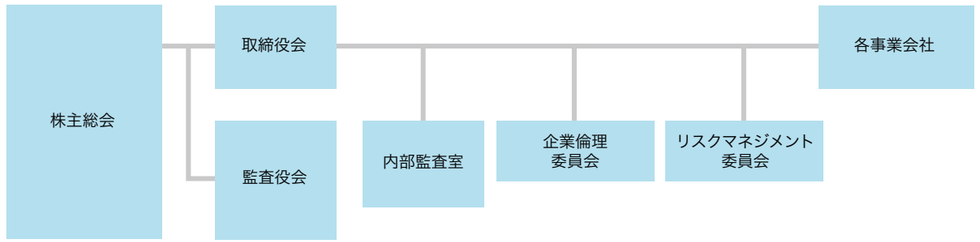
コーポレート・ガバナンス

セイコーホールディングス(株)は、「社会に信頼される会社であること」を、経営上の最重要課題と位置づけています。取締役会、監査役会および内部監査室、企業倫理委員会、リスクマネジメント委員会などの場を通じて、事業現場での管理監督の充実をはかり、経営活動の透明性をさらに向上させ、コーポレート・ガバナンスを強化しています。

コンプライアンス

企業が社会的責任を果たすためには、社員一人ひとりがそれぞれの業務活動において、法令遵守と企業倫理を徹底する職場環境が不可欠です。セイコーホールディングス(株)および各事業会社は、「企業倫理の基本理念」および「企業倫理行動指針」を制定し、これに基づく各種の研修を実施しています。

セイコーホールディングス(株)のコーポレート・ガバナンス体制図



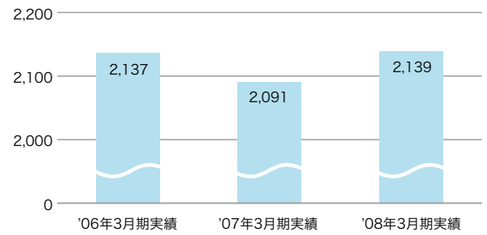
企業倫理行動指針は、下記のウェブサイトをご参照ください。
web http://www.seiko.co.jp/corporate/philosophy/agenda.html

財務概要 / 中期経営計画

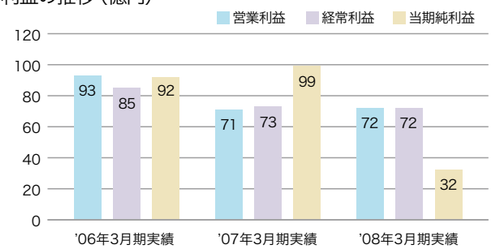
セイコーホールディングス(株)の2008年3月期の連結売上高は2,139億円、当期純利益は32億円でした。現在、2009年3月期を最終年度とする第3次中期経営計画の最中でありますが、事業収益力強化の徹底、信用力の向上、コーポレート・ガバナンス体制の充実に取り組んでいます。

連結経営成績

連結売上高の推移(億円)

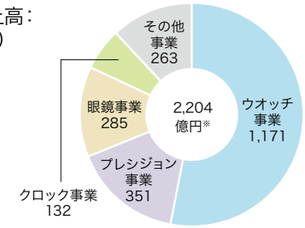


利益の推移(億円)



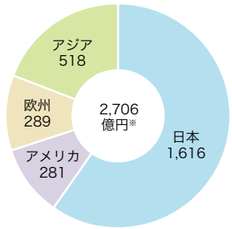
事業別セグメント売上高:
2008年3月期(億円)

※セグメント間の内部売上高または振替高消去前



所在地別セグメント売上高:
2008年3月期(億円)

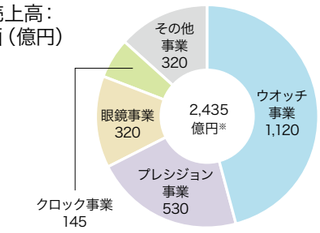
※セグメント間の内部売上高または振替高消去前



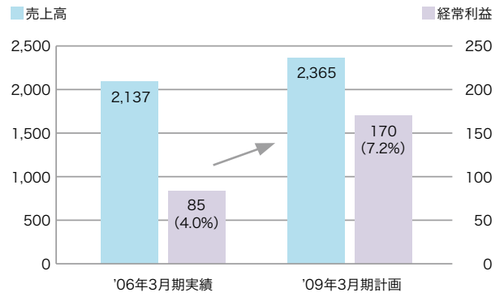
中期経営計画の取り組み

事業別セグメント売上高:
2009年3月期計画(億円)

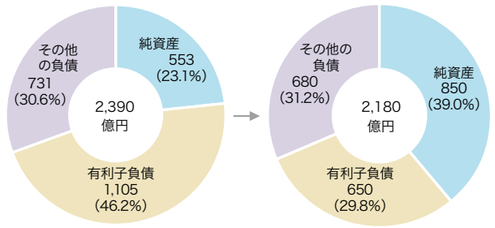
※セグメント間の内部売上高または振替高消去前



売上収益力強化の徹底:
売上高と経常利益の増加(億円)



信用力の向上:有利子負債の圧縮と株主資本の充実(億円)



決算発表資料は「IR情報」に掲載しています。
web http://www.seiko.co.jp/ir

快適な空間が広がる、東京丸の内のセイコーウオッチカスタマーサロン

社会性報告 お客さま

お客さまの「末永いご愛顧」のため、常に最高の技術と技能でお応えしています。

お客さま視点のサービスを追求

“お客さまの多様なニーズに、一つひとつきめ細かく対応する。”それがカスタマーサービスの原点です。お問い合わせやご相談、ご意見、修理依頼など、お客さまの声やご要望をしっかりと把握し、適切・迅速・公平な対応を心がけながら、常にお客さまとの接点を進化させるよう努めています。

事業会社それぞれにお客さま窓口

セイコーウオッチ(株)のご来室窓口であるセイコーウオッチカスタマーサロンは、2008年1月、日本の金融・経済の中心であるビジネスセンターの役割を果たし、また近年、再開発により時代の潮流を取り入れて大きく変貌を遂げた街、丸の内に移転しました。

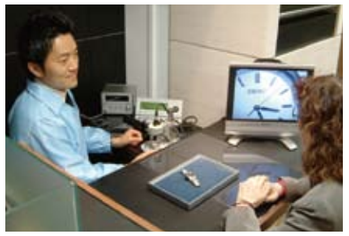
新しいセイコーウオッチカスタマーサロンは、購入後の修理の受付にとどまらず、購入前のお客さまの買物相談や、時計についての情報発信などの役割を前面に打ち出しています。また、「テーマギャラリー」を併設するなど、お客さまがお待ちいただく時間を快適に過ごしていただけるよう工夫。修理の内容をより詳しく知りたいお客さまには、マイクロカメラで拡大した映像とともに「技術者による納得いくまでの説明」、あるいは、代表的な高級モデルを実際につけてその良さを納得いくまで確かめていただく「試着サービス」など、よりお客さまの視点に立った新しい試みを実施しています。

お客さまの満足度アップは、製品・サービスが高品質であることが不可欠なため、セイコーウオッチカスタマーサロンに寄せられたすべての相談はデータベース化し、迅速に関係部門にフィードバックすることによってカスタマーサービス向上の一助としています。

また、セイコークロック(株)の「お客様センター」、セイコーオプティカルプロダクツ(株)「お客様相談室」もあります。セイコークロック(株)への相談のほとんどは、買物相談と修理の相談・依頼です。クロック修理はクロックの修理センターで実施していますが、100年前のクロックが修理品として持ち込まれることもあり、こうした場合も、お客さまの修理への期待に応えるべく、最善の方策を見つけるお手伝いをしています。

さらに、セイコーオプティカルプロダクツ(株)への相談については、眼鏡は医療用具という商品の性格上、適正に使用することが大変重要で、お客さまのご意見あるいはご要望に対して、常に的確な対応に努めています。こうした日々の活動を背景としたサービスの向上が高付加価値を生み出し、ブランドの価値向上につながっていくと考えています。

セイコーウオッチカスタマーサロン


マイクロカメラで拡大してウオッチの修理内容を説明

セイコークロックお客様センター

迅速かつていねいな修理のために

“純正部品を使って、設計仕様の性能に限りなく近づけること。”それがセイコーウオッチ(株)の考えている修理の基本です。純正部品は経済産業省のガイドラインに沿って保管していますが、その期間を超えていても、部品の在庫の有無が確認できるよう、年に1度修理可能モデルの一覧表を作成し販売店に配布しています。また、修理の技術料金表も販売店に配布していますので、複雑な修理でなければ店頭で料金が確認でき、お客さまに修理するかどうかをすぐに判断していただけます。

盲人時計や音声合成時計など特殊な時計の修理・メンテナンス時には、お預かりしている間の不便さを解消するため、「代替ウオッチの貸し出し」も行っています。また、修理が終わった後のおとどけの際には、「ウオッチケア・リーフレット」を同封し、ウオッチのメンテナンス情報をはじめ、正しい時計の使い方などをご案内しています。

安心して長くご愛用いただくための「ウオッチケア・リーフレット」

修理技術の向上のために

時計修理技術のレベルアップと技術の継承を目的に、年に1度「時計技能競技全国大会(主催:全時連※)」が開かれています。セイコーサービスセンター(株)からは、2000年の第13回大会から毎年5〜10名ほどが参加。今まで何人もの優勝者を輩出してきました。本大会は、若手技術者の登竜門にもなっていますが、セイコーサービスセンター(株)では参加予定者に対して、過去の入賞者が実戦的な練習などを通じてサポート。大会への参加が、修理技術の継承にもつながっています。

また、国家試験である時計修理技能検定試験でも1級合格者が数多く誕生しています。こうした競技や試験は、技術の向上を目指す技術者の目標になっているだけでなく、セイコーブランドの信頼性の高さを裏づける大きな力になっています。

※全日本時計宝飾眼鏡商業協同組合連合会
web http://www15.ocn.ne.jp/~zenji36

修理技術を世界で指導

セイコーウオッチ(株)は、世界各地でウオッチの修理技術指導を行っています。2008年には、独自の自動巻発電クオーツ「キネティック」をベースにした新機構「キネティック ダイレクト ドライブ」の技術講習会を、アメリカ、オランダ、アラブ首長国連邦(UAE)、マレーシア、パナマで開催。それぞれの地域におけるサービスセンターのトップクラスのスタッフを対象に修理技術の指導を行いました。

世界各地で実施される技術講習会

社会性報告 お客さま お客さまの安心と期待に応えたい。その気持ちが原動力です。

品質の高さをさらに発展させていくために

消費者をはじめビジネス・パートナーとしての納品先のお客さままでの幅広いニーズに対して、製品やサービスが常に最善の効率と品質のもとにご提供できるよう、経営資源を体系的に整え、業務の標準化を進め、またそれを計画的に実行しています。そして、常に品質に高い関心を払うことが、お客さまにご満足いただける製品やサービスの提供につながる道であると考えています。

各事業会社のISOの認証と運用

お客さまにより満足していただける製品、サービスが提供できるよう、品質の継続的な改善に努めています。設計・開発・量産加工・サービス・情報体系の整備やマニュアル化など、目に見える業務の標準化から企業文化や社員一人ひとりの知識・経験の分野にいたるまで幅広く取り組んでいます。これにより、製品やサービスの管理監督を組織的に実現するシステムである品質マネジメントシステムに関してのISO 9001の認証取得が進んでいます。

ISO 9001（品質マネジメントシステム）認証の取得

- ●セイコークロック（株）
  2000年8月認証取得
- ●セイコープレシジョン（株）・セイコータイムシステム（株）
  2000年11月認証取得
- ●セイコーNPC（株）
  1994年4月認証取得
- ●セイコーオプティカルプロダクツ（株）
  2005年9月認証取得
- ●（株）オハラ
  1998年4月認証取得

ISO 9001 登録証

情報セキュリティの確保へ

セイコープレシジョン（株）は、高度な精密加工技術をベースに、電子、光学、情報分野へIT関係の各種パーツ・デバイスソリューションを提供しています。取り扱っている最先端の技術・顧客情報は重要情報であり、セキュリティの確保には細心の注意を払うとともに、必要なリスクマネジメント体制下で慎重に管理しています。特にシステム事業においては、2004年8月に開発部門が国際規格ISO/IEC 27001の情報セキュリティシステム（ISMS）の認証を受けました。この規定には39の管理目的と113の管理項目があり、セイコープレシジョン（株）が必要とする項目をベースに規定書を作成し、品質管理を行っています。現在は、情報システム部門を含めて社内の各関係部門へ情報セキュリティ管理の拡大を推進しています。

医療機器製造業許可、第三種医療機器製造販売業許可を取得

セイコーオプティカルプロダクツ（株）は、2005年に施行された改正薬事法にのっとり、「医療機器製造業許可（包装・表示・保管）」「第三種医療機器製造販売業許可」を申請し許可を取得しています。眼鏡レンズは第三種の医療機器と規定されていますが、その品質保証と安全管理について、商品の開発から販売後までの責任を明確にするものです。セイコーオプティカルプロダクツ（株）は、こうした基準に基づき、自社独自の規定書を作成し運用しています。人の健康に大きく関わる眼鏡レンズを安心してお使いいただくために、製品の品質確保と市販後の安全管理に配慮しています。

さまざまなニーズに応えて

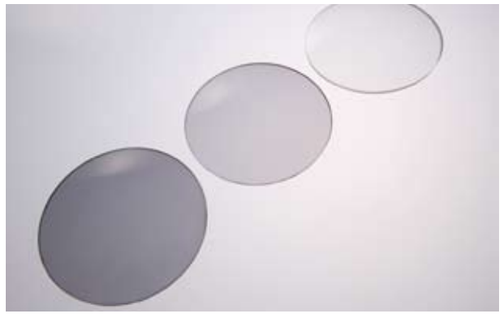
その時代やお客さまが求めるさまざまな商品を提供するのが各事業会社の使命です。広告宣伝などの商業ベースに乗らなくても社会的に必要だと思われる商品は、必要な経営上の意思決定を経て、社会の期待に応えるべく、多くの商品を世に送り出しています。常に時代やお客さまの声に耳を傾ける姿勢を持ちつづけ、社会が必要とする商品開発を進めています。

レンズ、フレームの保証制度

セイコーオプティカルプロダクツ（株）は、2006年7月、有機複合物でレンズのすべてを構成した「セイコー オーガテック」を誕生させました。熱やキズ、汚れなどに強いプラスチックレンズとして注目されていますが、このレンズを安心してお使いいただくために、1年間のレンズ保証システムを取り入れました。保証期間中、正常な使用状態のもとで万一レンズ面にクラック（ひび割れ）などが発生した場合、お求めの製品と同じものに交換するというものです。さらに、レンズ情報などを記載した「レンズユーザーカード」も発行。万一、眼鏡を紛失した場合でもデータに基づきすぐに対応できるなど、お客さまが安心できるサービス体制を築いています。またフレームでも、「ダンヒル」、「ウェルス」「セイコーSシリーズ」は、保証期間中、通常使用における表面処理のはがれなどの不具合に対し、修理や部品交換（消耗部品は除く）を無償で行う2年保証システムを実現しています。

眼を保護する、新コンセプトのレンズ

セイコーオプティカルプロダクツ（株）は、眼に有害な紫外線をほぼ100%ブロックする機能を持つ「セイコー ビジョンテックトランジションズ」レンズを提供しています。このプラスチックレンズは屋内では透明のクリアレンズですが、いったん屋外に出ると紫外線に反応してレンズに色が付き、まぶしさから眼を保護します。


「セイコー ビジョンテックトランジションズ」

盲人向けの時計を提供

眼の不自由な方のために作られ、指の触覚だけで時刻が分かるようにした盲人時計は、普段時計店の店頭で見かけることの少ない商品です。文字板のガラスがフタになっていて、開けて針に触れることで時間を知ることができます。

セイコーウオッチ（株）が、この方式の時計の開発に着手したのは、今から約70年前の1939年に傷痍（しょうい）軍人向け特別仕様品を受注したのがきっかけでした。国産初の盲人用懐中時計であり、針に触れることで時刻を読み取るため、触っても針が動かないようにするなどの新たな技術も開発。現在は男女ともに各2タイプの盲人用時計4モデルを提供しています。また、点字による取扱説明書を用意するなどの配慮もしています。企業の実業と社会的な責任を一体化するケースであり、開発・製造の投資を含めて長期的な視点に立って社会の信頼に応えていくよう努めています。

音声ガイドや点字の取扱説明書も提供

セイコークロック（株）は、音声報時付きの目ざまし時計をシリーズ化しています。この時計は、時刻を音声でお知らせするのみでなく、操作方法も音声で案内する機能が付いているので眼の不自由な方でもアラーム時刻の設定などの操作が容易にできるよう配慮しています。さらに点字取扱説明書の用意もあり、必要に応じて差し上げています。

盲人時計

セイコークロック（株） 点字取扱説明書

社会性報告
株主 / 社員

清潔で誠実な企業姿勢を守りつづけ、社員とともに成長していきます。

株主とのかかわり

セイコーホールディングス（株）は、上場企業として株主の信頼に応えるため、法令を遵守し、社会規範を尊重しています。また、経営の透明性を高めるとともに、投資の判断材料としての企業価値の向上に努め、セイコーホールディングス（株）にかかわる情報を迅速、正確かつ公平に伝達する努力をしています。

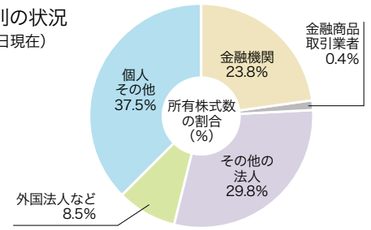
適正な会計処理・会計報告

セイコーホールディングス（株）は、連結ベースの経営情報を東京証券取引所の適時開示規則に沿って開示しています。また、株主総会は、総会自体を適正に開催するだけでなく、招集通知に添える事業報告を丁寧に記述し、株主の皆さまに事業活動を深く理解していただく努力をしています。

情報開示の公平性への配慮

セイコーホールディングス(株)は、経営情報の正確さとその開示の公平性に常に細心の注意を払っています。株主の皆さまに対する情報開示の方法として、決算発表資料や商品などに関するニュースリリースも速やかにウェブサイトに掲載し情報を伝達しています。また、インサイダー取引防止という観点からも、経営情報の管理に十分な注意を払っています。

株式所有者別の状況
（2008年3月31日現在）



株式所有者別の状況（2008年3月31日現在）

	株式の状況（1単元の株式数1000株）							単元未満株式の状況
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人など	個人その他	計	
株主数（人）	0	38	28	101	120	7,528	7,815	−
所有株式数（単元）	0	27,505	483	34,472	9,768	43,287	115,515	909,000

決算発表資料は「IR情報」に掲載しています。
web http://www.seiko.co.jp/ir

社員とのかかわり

セイコーホールディングス（株）および各事業会社は、社員一人ひとりが安全で安心して働ける職場環境を実現することが、社会的な責任を果たすだけでなく、企業業績の永続的な向上につながると考えています。このため、社員の人権や人格を尊重し、各種法令を遵守することはもちろん、能力開発のための研修プログラム導入などの取り組みを行っています。

働きやすい環境づくり

セイコーホールディングス(株)および各事業会社は、男女共同参画の考えに沿って雇用機会均等の推進に努めています。また、育児休業後の復帰支援や福利厚生面での育児支援、年次有給休暇の取得促進を2010年に向けた目標に掲げ、仕事と育児を両立できる環境整備に取り組んでいます。

さらに、障害者雇用促進法に基づく雇用促進や設備面の配慮、60歳の定年退職後も新たな雇用契約（1年更新の契約社員）により65歳まで就労可能な「再雇用制度」の導入など、さまざまな施策を推進しています。

社員の構成（2008年3月現在、国内主要連結会社）

社員男女比率		管理職比率		管理職の男女比率	
男性	68%	管理職	17%	男性	95%
女性	32%	一般職	83%	女性	5%

「管理職」は、課長職以上

育児休業・育児短時間勤務制度取得状況（国内主要連結会社）

	2005年度	2006年度	2007年度
育児休業	26人	42人	39人
育児短時間勤務	31人	37人	49人

次世代支援行動計画に基づく人事制度（2007年3月改定）
［セイコーホールディングス(株)］

1. 育児休業制度の改定
2. 育児短時間勤務制度の改定
3. 子の看護休暇制度の改定
4. 再雇用登録制度の新設
5. 不妊治療のための休暇制度の新設
6. 子供手当の新設
7. 育児関連制度に関する情報提供・コミュニケーションの新設
8. リフレッシュ休暇制度の改定

仕事に専念できる環境づくり

セイコーホールディングス（株）は、社員の健康と安全を確保するため安全衛生管理規則を定めています。これにのっとり、総括安全衛生管理者、衛生管理者、産業医を選任し、安全衛生委員会を設置。定期的な健康診断やストレスチェックテスト、健康相談窓口の設置などの取り組みのほかにも、長時間労働による健康障害の防止やメンタルヘルスの保持・増進などの諸対策を実施しています。

安全の確保のためには、大規模災害発生時に社員一人ひとりが取るべき行動をまとめた「災害対策マニュアル」を作成し配布。社員とその家族の安否を確認するための専用システムを導入し、非常時用資材の確保・配布などを行い、社員の安全確保をはかっています。

能力開発の活性化と評価

社員の能力開発を支援するため、階層別にさまざまな教育・研修を実施。そこで培った能力を最大限に発揮できるよう、良き伝統である「自由かっ達な職場風土」の維持に努めています。また、業績貢献、職務発明、永年勤続といった社員のさまざまな貢献に対する評価として、各事業会社は業種・業態に沿った表彰制度を設けています。

階層別研修

4月	新入社員研修	（対象：新入社員）
6月	課長クラス研修	
8-10月	人事考課者研修	（対象：部長・課長クラス）
10-12月	係長クラス研修	
10月	新任管理職研修	（対象：課長昇格者）
10月	新任管理職フォローアップ研修	（対象：前年度課長昇格者）
11月	財務研修	（対象：部長クラス）
1月	新入社員フォローアップ研修	

新入社員研修の様子

「稲越功一写真展──まだ見ぬ中国──」より

社会性報告 社会

「夢と感動と幸せ」に満ちた豊かな“時”をお客さまと分かち合います。

文化の分野で幅広く活動

いつの時代もお客さまと「夢と感動と幸せ」に満ちた時間を共有することを大切にしてきました。たとえば、和光ホールにおける多彩な内容の催事は、和光のお客さまだけでなく広く一般に向けて開放し、豊かな時をおとどけしてきました。

和光ホールと和光並木ホール

和光は、1947年（昭和22年）に設立されて以来、「和光ブランド」をおとどけする専門店として成長・発展してまいりました。銀座四丁目角に位置し、銀座のシンボル、東京のランドマークとして人々から愛されている和光本館。その6階に位置する和光ホールでは、1970年（昭和45年）11月に「和光美術展・工芸彫塑の部」と題して14名の作家の作品展を開催したのを皮切りに、絵画・陶芸・書など内外の美術を紹介する展覧会、あるいは写真展をはじめとする国際交流・文化催事を開催してきました。

和光ホールは、単に美術・工芸品の展示企画にとどまることなく、その作品が持つ芸術性や伝統美を顕現するための展覧会として位置づけ、また移り変わる現代社会における国際交流・文化催事を振興する企画をしてまいりました。常に、お客さまに、和光が選んだ最上のものをおとどけすること、そしてお客さまから高い評価をいただくことを念頭に置き、充実した内容、タイミングのよさ、オリジナリティー、意外性といったものを心がけ、多くの話題を提供してきました。また、2008年（平成20年）1月よりオープンした和光並木館 5階にも新しく展覧会ホールを設け、これまで以上にバラエティーに富んだ内容で文化を発信しています。

催事の意義を和光並木ホールにも反映

2008年1月より約10ヵ月間、和光本館のリニューアル・改修工事のために和光ホールでの展覧会の開催を一時休止したものの、和光並木ホールのオープンにより、展覧会は途切れることなく開催されました。その主なものをご紹介いたします。

2月は、女流書家の閑 万希子（かん まきこ）さんの個展を開催。「墨に こころ よせて」がテーマで、室町時代の歌謡である『閑吟集』などを題材とし、「室町人（むろまちびと）」に魅了された閑さんの世界が豊かに広げられました。

7月は、漆芸家の服部峻昇（はっとり しゅんしょう）氏の漆芸展「美を創る」を開催し、屏風、飾箱、茶器など70余点が出品されました。同氏は、漆を使い平安時代に確立された技法を伝承しながら、現代に通用する用途性を追求する作品を創作しています。同じく7月に、写真家の稲越功一（いなこしこういち）氏の写真展が「まだ見ぬ中国」をテーマに開催されました。シルクロードにある新疆（しんきょう）ウイグル自治区をはじめとする中国各地の写真作品が70点ほど出展されました。さらに10月は、金沢で約340年前に始まった大樋焼（おおひやき）を今に伝える巨匠、十代 大樋長左衛門（おおひ ちょうざえもん）氏の──「今」をつくる・陶板と墨絵の世界──を紹介する作品展を開催しました。

「閑　万希子個展──墨に こころ よせて──」より

「服部峻昇漆芸展──美を創る──」より

スポーツ・音楽の活動

スポーツ競技会のセイコーの公式計時や音楽祭への協賛など、人々の心に残る活動を展開しています。

世界中の感動の瞬間をサポート

1964年、アジアで初めて開催された東京オリンピックで、セイコーはオフィシャルタイマー（公式計時）を担当。世界に先駆けた総合的な電子技術の導入で、スポーツにとって電子計時時代の幕開けを飾りました。現在も、陸上をはじめ、水泳やスキー・スケートなどさまざまな国際競技大会で、最新のシステムを駆使した計時サービスを提供し、その結果を瞬時に観客に伝え、世界中で感動の瞬間をサポートしています。

- 陸上競技/1985年からつづく国際陸上競技連盟（IAAF）とのパートナーシップを中心に、世界各地で開催される数多くの陸上競技大会に協賛。2008年3月には「IAAF世界室内陸上選手権バレンシア大会」の公式計時を担当。2009年に行われる「第12回IAAF世界陸上選手権ベルリン大会」に向けての準備も開始しています。
- 水泳競技/（財）日本水泳連盟のオフィシャルタイマーを担当し、競泳の速報もウェブサイトで公開。2008年4月には「日本選手権水泳競技大会」の公式計時を担当。
- スキー・スケート競技/1972年の札幌オリンピックをはじめとし、冬の厳しい自然環境のもとでも、長年の経験と確かな技術でスケートやスキー大会の公式計時を担当。2008年3月の「世界距離別スピードスケート選手権・長野大会」の公式計時を担当。

軽井沢国際音楽祭に協賛

2008年8月、長野県軽井沢町の「軽井沢大賀ホール」にて“軽井沢国際音楽祭2008”が開催されました。この音楽祭は、2006年より「軽井沢国際音楽祭」と装いを改め、日本あるいは海外で活躍するアーティストを招いて国際色豊かな音楽祭をスタートさせました。セイコーホールディングス（株）は、この音楽祭の協賛企業になり、音楽というアートシーンの中で、お客さまとともに夢と感動の時間を分かち合いました。

軽井沢大賀ホールで開催された「軽井沢国際音楽祭2008」

環境報告 環境マネジメント

地球から多くの恩恵を受けてきた私たち。いま、環境を守るための努力を惜しみません。

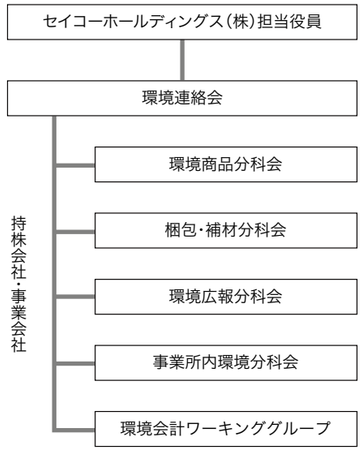
環境保全の取り組み / 環境会計

世界的に急務とされている地球温暖化をはじめ、深刻化する地球環境問題の改善・解決に企業として貢献するため、環境保全活動を進めています。商品開発、調達・製造、輸送・販売・アフターサービス、商品・容器のリサイクルなど、幅広い取り組みを進めています。

環境基本理念・方針

セイコーホールディングス(株)は、環境を経営の重要課題ととらえ、1998年に「環境方針」、1999年に「環境基本理念」を制定し、各事業会社と協働の取り組み体制を構築し、環境保全の課題解決に向けて組織的に取り組んでいます。

環境推進体制図



環境保全への取り組み体制

セイコーホールディングス(株)と各事業会社の環境担当者が全体的な環境活動を連絡・調整する場が「環境連絡会」です。この環境連絡会には、業務推進を行う「環境商品」「梱包・補材」「環境広報」「事業所内環境」「環境会計」の合計5つの分科会・ワーキンググループが設けられ、チームごとの活動方針に基づいて取り組みを進め、定期的に成果を報告・共有しています。さらに、定期的に、社員を対象にして外部の講師を招聘し「環境セミナー」を開催。環境コンサルタント会社からの最新情報に基づき、世界の環境法規制に関する最新動向の情報把握に努めています。2007年度にはEUや米国、中国における化学物質の法規制動向などをテーマとして取り上げました。また、セイコーホールディングス(株)と各事業会社は、共通ネットで「環境トピックス」を閲覧することにより、各企業内で行われている最新の環境活動に関する情報を共有しています。

2008年度環境活動のスタートとして開かれた「環境連絡推進大会」

環境保全活動の分野

商品開発
- 省エネルギー設計の徹底
- 「エコマーク」商品の企画・開発
- 環境負荷の高い化学物質の使用制限(EUのRoHS指令対応など)
- 耐久性の向上(耐熱、耐磁、耐酸性など)
- 電池の長寿命化・電池代替の新エネルギー源の開発
- 電池規制への対応
- ボタン形電池の無水銀化の取り組み

→

調達・製造
- ISO14001認証取得による環境マネジメント推進
- 環境負荷の少ない材料・部品の調達(グリーン調達)
- 生産工程の省資源改革(歩留まり向上、稼働率の向上)
- 省エネ、省資源活動による環境保全活動(電力、水削減、廃棄物削減、自家発電のコ・ジェネレーションシステム、ゼロエミッション)
- 環境影響化学物質の管理・削減(PRTR法)
- 水質汚染防止法の遵守(土壌・地下水)
- 産業廃棄物の適正な管理
- 教育・啓発活動(チーム・マイナス6%活動、環境セミナー)

→

輸送・販売・アフターサービス
- メーカーから流通先への共同配送
- 循環型包装箱の運用
- エコ販売促進ツールの制作
- 教育、啓発活動(チーム・マイナス6%活動、環境セミナー)

→

商品・容器のリサイクル
- リサイクル体制の構築と展開(電池)
- 容器包装の「再商品化委託」と費用負担(容器包装リサイクル協会)

環境会計

セイコーホールディングス(株)と各事業会社は、環境省により公表されている環境会計ガイドライン2005年度版を参考にしたガイドラインを策定し、環境保全活動のコストと効果を連結ベースで集計しています。2007年度の環境保全コストは、設備投資額が4.6百万円、費用額が287.1百万円でした。その結果、電力消費を86万kWh削減、事務用紙購入量の8万枚削減といった量的な効果のほか、経済効果として廃棄物リサイクルの売却による194.9百万円の実収入、電力や水の削減による152.7百万円の費用削減を達成できました。

環境保全コスト

分　類	主な取り組み	設備投資額(百万円)※1	費用額(百万円)
1. 事業エリア内コスト			
公害防止コスト	監視活動、大気/水質/騒音などの公害防止	2.0	15.8
地球環境保全コスト	省エネ、温暖化防止	0.5	0.0
資源循環コスト	廃棄物処理、産業/一般廃棄物のリサイクル	0.0	16.6
2. 上・下流コスト	グリーン購入、環境ラベル、リサイクル(電池・容器包装)	0.0	12.2
3. 管理活動コスト	環境教育、環境マネジメントの構築・維持	0.0	32.1
4. 社会活動コスト	CSRレポートの発行、各種団体参加(WBCSDなど)、地域活動	0.0	13.2
5. 研究開発コスト※2	環境関連研究開発、図書費	2.0	5.2
6. 環境損傷コスト	土壌汚染調査対策	0.0	192.1
合　計		4.6	287.1

環境保全効果

(1)量的効果

項　目	削減量
電気使用量	86万kWh
事務用紙購入量	8万枚
事業所廃棄物量	57t
用水	0.6万m^3

(2)経済効果

主な取り組み	経済効果(百万円)
実収入効果 廃棄物リサイクル有価売却	194.9
費用削減効果 費用削減(電力・廃棄・水)、購入費削減など	152.7

※1 設備投資額は環境保全費用の中から原価償却資産のみを記載。
※2 ウオッチ、レンズ・フレームなどの製造を依頼している企業での研究コストは計上していません。

集計範囲:持株会社1社、事業会社11社
セイコーホールディングス(株)、(株)和光、セイコーウオッチ(株)、セイコークロック(株)、セイコープレシジョン(株)、セイコーNPC(株)、セイコーオプティカルプロダクツ(株)、セイコースポーツライフ(株)、セイコータイムシステム(株)、(株)クロノス、セイコーサービスセンター(株)、ヒューマンキャピタル(株)

環境報告
循環型社会への貢献

生命に動脈と静脈との循環があるように、よい環境にも循環が必要です。

無水銀化されたボタン形電池

無水銀電池への切り替え

セイコーウオッチ（株）は、2008年末をめどに、クオーツ腕時計に使用するボタン形酸化銀電池をすべて無水銀電池へ切り替える施策を進めています。

企業の社会的な責任として

無水銀電池とは、文字通り水銀をまったく含んでいない電池のことです。アナログクオーツウオッチの安定したエネルギー源として使われているボタン形酸化銀電池は、他の一般的なボタン形電池と違い、微量の水銀が添加されていました。酸化銀電池の負極に使われている亜鉛は、腐食反応で溶け出し、水素ガスを発生させ、電池ふくれの原因となりますが、腐食反応を抑制する役割をもつ水銀によって防止していました。

水銀は、古くから合金素材、消毒薬、水銀灯、そして電池など幅広く使われてきました。環境汚染につながるとされる有機水銀と違い、電池などに使われる無機水銀の有害性は極めて低いと言われています。しかし、自然や人体にわずかでもリスクが考えられるとしたら、電池から水銀を取り除くことは、企業としての社会的な責任であり、モノづくりの原点でもあります。

世界中で水銀自体の使用は制限されてきており、EUのRoHS指令で特定有害物質に指定されているほか、2011年に米国メイン州で水銀を使用したボタン電池およびそれを組み込んだ製品の販売が禁止されます。こうした中、セイコーウオッチ（株）の無水銀電池への取り組みは、国際的に注目を集めている環境対策の課題をいち早く先取りしたものです。

環境への配慮がお客さまの信頼に

セイコーウオッチ（株）が、無水銀電池に切り替えを始めたのは2007年4月でした。セイコー、クレドールの2ブランドについては、2008年7月生産分より無水銀の酸化銀電池を搭載しました。さらに、多種の電池開発、コストの圧縮などを図り、2008年12月末の生産をもって、セイコーウオッチのすべてのクオーツ腕時計の酸化銀電池について無水銀電池へ切り替えます。

セイコーウオッチ(株)は、これまでも省エネ・省資源特性を持つ環境に配慮したウオッチを次々に開発してきましたが、このボタン形電池の無水銀化によって、より環境負荷が小さいウオッチをおとどけできるようになりました。

循環型社会への貢献、有害物質規制への対応

省エネ・省資源化の推進はもとより、世界的に広がる有害物質規制にもいち早く対応。すでに環境に配慮した数多くの商品を市場に送り出しています。

省電力化、省資源化への対応

セイコークロック（株）は、2008年6月、アナログ電波ムーブメントで総厚8.5mmの世界最薄※ムーブメントを搭載し、消費電力を抑えた省エネ設計の電波クロックを製品化しました。

セイコークロック（株）が2003年にスタートさせた、環境に配慮した省エネ設計ムーブメントの開発。新ムーブメントに生かされた技術は二つあります。一つ目は「省電力化」技術です。新ムーブメントは、モーターへの電流を制御する技術の採用や標準電波の見直しを実施しました。さらに、表示を3針から2針にすることで、クロック全体の消費電力を従来品の約4分の1まで抑制しました。それにより、使用する電池の数を削減させ、省エネルギー化を実現しています。二つ目は薄型化による「省資源化」技術です。輪列（歯車）モーターを薄くすることにより、新しいムーブメントは従来品と比べると厚さと重量が半減し、厚さは100円硬貨5枚分の8.5mm、重量は100円硬貨約7枚分弱の33gになりました。

また、アンテナをムーブメントに内蔵できたこともあり、薄型ムーブメントを搭載した電波時計の容積は、従来の4～6割ほど削減されました。ウオッチと比べ体積がかさむクロックは、物流コストの削減も課題のひとつです。ムーブメントのコンパクト化は、梱包材や在庫スペースも少なくてすむため、物流のコストダウンを実現するとともに、輸送トラックなどの排出ガスの二酸化炭素削減にも貢献しています。

薄型ムーブメント

従来ムーブメント

※2008年12月において〈アンテナ一体型電波クロックムーブメント〉世界最薄。セイコークロック(株)調べ

“エコマーク”の認証

セイコーウオッチ(株)は、クオーツでもなくメカニカルでもない第三世代のウオッチ〈スプリングドライブ〉、腕の動きで発電できる〈キネティック〉、さらに〈メカニカル〉、〈ソーラー〉、〈パーペチュアルカレンダー〉という5つの商品区分において、すぐれた省エネ・省資源特性により、(財)日本環境協会から“エコマーク”の認証を取得。セイコースポーツライフ(株)のストップウオッチ商品も、太陽光発電や省電力機能によって同じようにこの認証を取得しています。

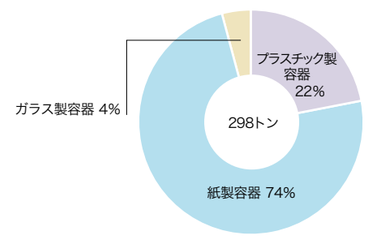
有害物質規制への対応

製品に含まれる有害化学物質の規制は、今や世界各地で導入が進んでおり、各事業会社は、すでに電気・電子機器への特定有害物質の使用を禁止するEUのRoHS指令（2006年7月施行）の対策を完了しています。この新しい環境にやさしい商品仕様を「世界標準」として自社スタンダードに採用し、他市場でも販売しています。また、セイコークロック(株)、セイコープレシジョン(株)、セイコーNPC(株)は、材料・部品の特定化学物質含有に関するグリーン調達を推進し、管理体制を強化しています。

循環型社会への貢献

(株)和光、セイコーウオッチ(株)など事業会社6社は、梱包材料の減量化、分別・リサイクルを促進する商品表示に取り組むほか、排出量に応じ再資源化費用を負担しています。

2008年度
容器包装排出見込量



環境報告
環境活動の推進

人に自然は創れません。だから、豊かな自然を守ることを大切にしていきます。

マングローブの植林風景

タイにおける CSR 活動

1988年、タイの首都バンコクの近郊に設立されたセイコープレシジョン・タイランド(株)。設立から20年、工場周辺の自然環境や地域の社会環境とともに生きていくという姿勢で、さまざまな活動に取り組んできました。その取り組みについてご紹介します。

タイ、バンコクの母なる川を守るために

精密技術をベースに、電子、光学、情報分野に独創的なキーパーツを提供しているセイコープレシジョン(株)。その海外生産の一翼を担うセイコープレシジョン・タイランド (株)(以下SPT)は、1988年に設立され、シャッターなどカメラ部品を中心に製造、組立てを行っています。

タイの首都バンコクの北に約50キロ行くと、周りは田園風景が広がり、古くからの工業団地 (ナワナコーン工業団地) に着きます。SPTは、ここに生産設備を持ち、従業員3,000人ほどが働いています。近くには、バンコクの水源にもなっている、「母なる川」と名付けられたチャオプラヤー川が流れています。

この工業団地内は、排水処理が大きな課題のひとつで、各企業は合同で環境委員会を定期的に開催。公的機関の厳しい水質検査についての情報交換などをし、排水規制への的確な取り組みを進めています。SPTの排水はそのまま排水するのではなく、水質を検査確認してから放流するなど、きめ細かな対応に努めています。

また、環境破壊や土壌汚染の原因になる恐れがある化学物質の管理については、厳しい管理体制を敷いて、各納入先の厳格なグリーン調達のガイドラインに沿った管理を進めています。オフィスにおいては、職場ごとに環境活動の目標を定め、電力や事務用紙の削減運動に取り組んでいます。

マングローブの植林活動

SPTは、2008年が設立20周年にあたります。その間、自分たちの住む地域の発展に少しでも寄与したいと、さまざまな活動を展開してきました。たとえば小学校への寄付、養護施設への寄付や慰問、また、タイ赤十字からの要請を受けて全従業員の9割が献血運動に協力しました。さらに、2007年からは、タイの中でも環境破壊の激しかった海辺 (サムットソンクラーム県)を元のマングローブの林に戻そうと、植林を始めました。マングローブは熱帯などの海岸や川岸に生える植物の総称ですが、このマングローブの林はさまざまな生物が棲み、自然生態系を守る働きがあります。2008年度は、30名のスタッフが地元の方々と協力して作業を進めました。日本の田植えと同じように一本一本手で植えていきます。「美しいタイの自然を次の世代へ」という気持ちをこめて、地域活動を推進しています。

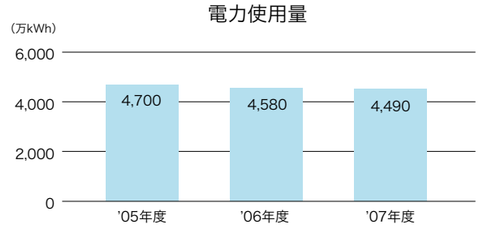
地球温暖化防止 / 環境リスク低減

商品の開発・製造プロセスにおいて、二酸化炭素排出の低減や環境汚染リスクの低減は、今や企業にとっての最優先課題と言えるほど重要な位置を占めています。セイコーホールディングス (株) および各事業会社は、常にこうした課題に取り組み、環境保全活動を推進しています。

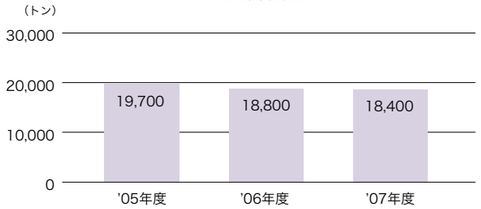
地球温暖化防止

セイコーホールディングス (株) および各事業会社は、二酸化炭素の排出による地球温暖化の防止に取り組んできました。各製造事業所は、省エネを追求し、コ・ジェネレーション(熱電併給)設備の導入やヒートポンプ採用の補助装置による稼働の効率化などで、環境保全活動を継続しています。セイコーオプティカルプロダクツ(株)は、2006年7月、有機複合物で構成されているキズや衝撃に強いレンズ「セイコー オーガテック」を発表しましたが、その製造プロセスで従来のマルチコートレンズと比較し二酸化炭素の排出量を約51%削減。環境負荷の低減を実現し、地球温暖化防止に貢献しています。

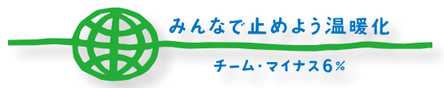
電力使用量



CO_2排出量



また、国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」運動に2005年から参加。社員一人ひとりに地球温暖化防止に向けた行動を促し、クールビズや節電、節水、事務用品のグリーン購入など、社会全体の二酸化炭素排出削減にも取り組んでいます。



WBCSD

40カ国、20産業の主要企業200社、50地域別組織で構成するWBCSD(持続可能な発展のための世界環境経済人会議)は、世界の産業界を代表する非営利団体として国連など国際機関に影響力を持ち国際社会の中で大きな存在感を保っています。WBCSDは、持続的発展に向けた変革のきっかけをもたらすべく産業界のリーダーシップをとること、また、環境効率(エコエフィシェンシー)、革新 (イノベーション)、企業の社会的責任 (CSR) 向上に寄与することを使命としています。また、貧困の緩和、倫理、説明責任のほか、持続可能な発展を促進するために市場をどのように利用できるかという問題など、経済成長、環境保全、社会的公平の三本柱による持続的発展をテーマに、より広い課題に取り組んでいます。セイコーホールディングス(株)は、WBCSDのこうした活動に賛同し、セイコーエプソン(株)、セイコーインスツル(株)とともに加盟しています。

WBCSD (The World Business Council for Sustainable Development
持続可能な発展のための世界経済人会議)

web http://www.wbcsd.org

環境リスクの低減

製造事業所を持つセイコークロック (株)、セイコープレシジョン(株)、セイコーNPC (株)は、取り扱っている化学物質を常時適正に管理し、環境汚染リスクの低減に努めています。また、化学物質のリサイクルや、製造工程の改善などを通じて、使用量の削減にも取り組んでいます。上記3社は、PRTR法※に基づく調査・届出を毎年行っています。

PRTR調査届出対象物質排出・移動量(トン)

物質名	2006年度	2007年度
ジクロロメタン	18.00	36.25
フッ化水素およびその水溶性塩	4.37	4.58
トルエン	0.99	0.73

※PRTR法／特定化学物質の環境への排出量の把握・届出の改善の促進に関する法律。事業者に、有害性のある化学物質の環境への排出量と事業所外への移動量を行政機関に年1回届け出ることを義務づけています。